Vol.2012-ICS-168 No.1
2012/9/19

【基調講演】

インタラクションにおける情動系・無意識系の活用

栗原　聡
大阪大学　産業科学研究所

我々の緊急時の突発的な行動から普段に何気ない行動において,そのすべてが意識的な振る舞いではなく，実際はほとんどの振る舞いは無意識に行われている．これは我々自身が我々の習慣的な行動パタンや嗜好のすべてを意識的に認識してはいないことを意味するものであり,アンビエントシステムの構築において,我々が心地よく感じるインタラクションを実現するに際して，いかにして情動・無意識系にアクセスするかが鍵となる．本講演では我々の情動・無意識系を工学的に扱うためのいくつかの試みを紹介する．

ⓒ2012 Information Processing Society of Japan